

## 基本方針 2

ふるさと・松阪に誇りを持ち、豊かな心と自主性や社会性を備えた子どもを育てます

<健やかな体>

## 18 食育の推進

担当課：給食管理課、学校教育課

### 現状と課題

家庭生活や生活様式の多様化等に伴い、偏った栄養摂取、不規則な食事、朝食の欠食等、子どもたちの食生活にさまざまな課題がみられます。全国学力・学習状況調査において、「朝食を毎日食べている」と回答した児童生徒の割合は、高くなってきている状況にはありますが、今後も家庭と連携し取組を進めていく必要があります。

また、食物アレルギーのある子どもたちは増加傾向にあり、学校給食において、安全性を最優先した適切な対応がより一層求められています。

さらに、食料生産者の努力を身近に感じ、感謝の気持ちを育むため、学校給食の地場産物の使用割合を増加させていく必要があります。

松阪市では、学校給食が食に関する生きた教材として活用されるよう、旬の地場産物を取り入れた「ちゃちゃもランチ」等の取組を進めています。また、各学校（園）では、食育担当教員や栄養教諭・学校栄養職員を中心に、「食に関する全体計画」の作成や指導体制の整備、教材や指導方法の研究等に取り組んでいます。このように、子どもたちが食に関する正しい知識と健全な食生活を実践できる資質・能力を身につけるよう、食育を進めています。

### 今後の方向性

子どもたちが夢をもち将来にわたって健康に生活していくため、その基礎となる体づくりには、食の自己管理能力や望ましい食習慣を身につけることが大切になります。

そのため、子どもたちに、栄養や食事のとり方等について、正しい知識に基づいて自ら判断し実践する力を養う食育を推進していきます。

また、朝食を摂ることの大切さを含め、望ましい食習慣については、家庭との連携のもと取組を進めていく必要があるため、給食だよりや保健だより等を通じて、児童生徒の実態を共有するなど、食についての啓発を進めていきます。

## 取組内容

- ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症への対策を講じながら、望ましい食習慣を身につけ、食事を通じて自らの健康管理ができるよう、学校教育全体で取り組み、子どもたちへの食に関する指導を充実するとともに、家庭への啓発を進めていきます。
- ・学校(園)や家庭、地域が連携して、新型コロナウイルスをはじめとする感染症の対策を行いながら、地域の食材を利用したさまざまな食に関するイベントを開催します。
- ・学校給食が食育の生きた教材として活用されるよう、魅力ある給食のあり方について検討します。
- ・学校給食における地場産物使用を大切にして、食料生産等に関わる人々の努力や「食」への感謝の気持ちを育む取組を進めます。
- ・食物アレルギーに係る安全性を最優先に、適切な対応ができるよう、関係職員対象に研修会を開催するとともに、保護者とときめ細やかな連携に努めます。

## 評価指標

評価する際の指標		現状値 (R2)	目標値 (R6)
活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「三重の地物が一番！朝食メニューコンクール」に取り組んだ学校の割合 ※三重県教育委員会・三重県学校給食会主催</li> </ul>	小 8.3% 中 18.2%	小 19.4% 中 54.5%
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「朝食を毎日食べている」と回答した児童生徒の割合 ※全国学力・学習状況調査で、「している」「どちらかといえばしている」と回答した児童生徒の割合</li> </ul>	小 91.9% 中 87.8%	小 96% 中 92%

【参考】令和3年度 小学校36校、中学校11校

## 達成をめざすSDGs

